令和８年度
流山市の教育













流山市立小中学校基本データ

区分	小学校	中学校	合計
学校数	19 校	10 校	29 校
児童生徒数	14,689 人 (+442)	5,480 人 (+57)	20,169 人 (+499)
学級数	570 学級 (+34)	192 学級 (-1)	762 学級 (+33)
教職員数	782 人 (+76)	362 人 (±0)	1,144 人 (+76)

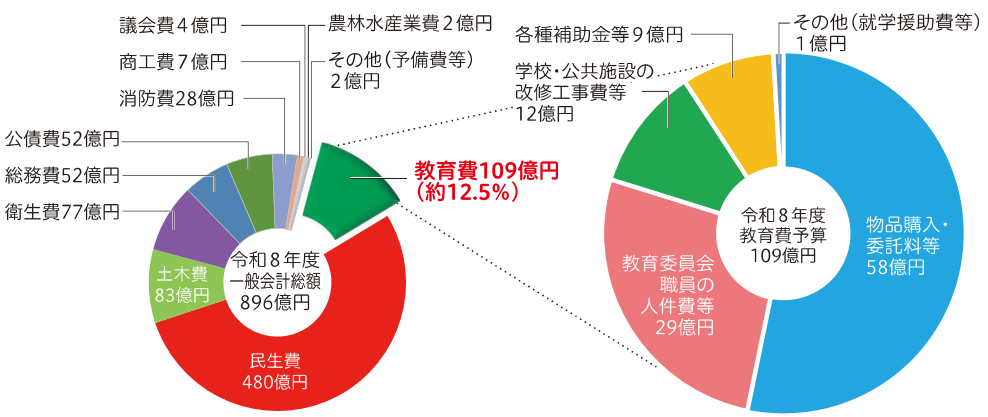
※令和8年5月1日時点（昨年度比）　※教職員数は県費負担教職員のみ

編集 / 発行　流山市教育委員会

流山市教育委員会
市ホームページ

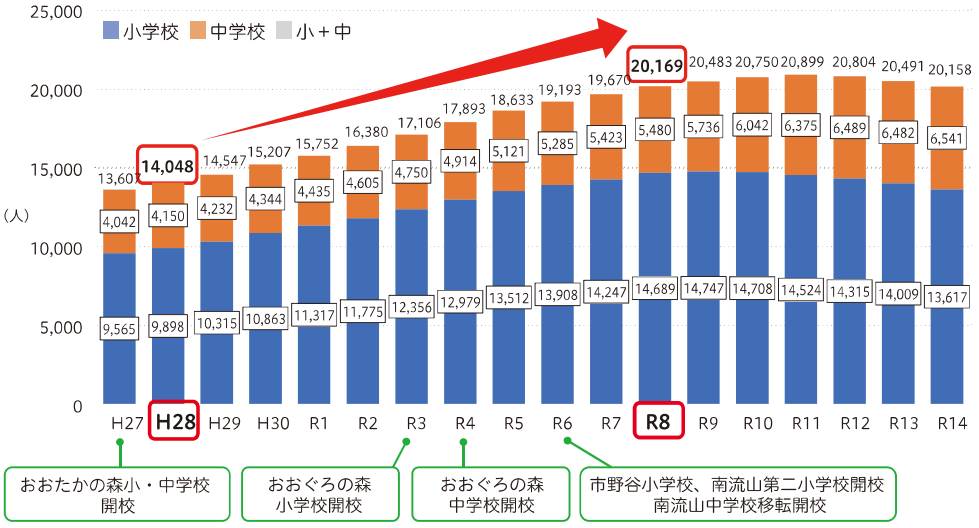
データでみる流山市の教育

1 教育費予算



教育費予算額について

2 児童生徒数、推計及び想定値

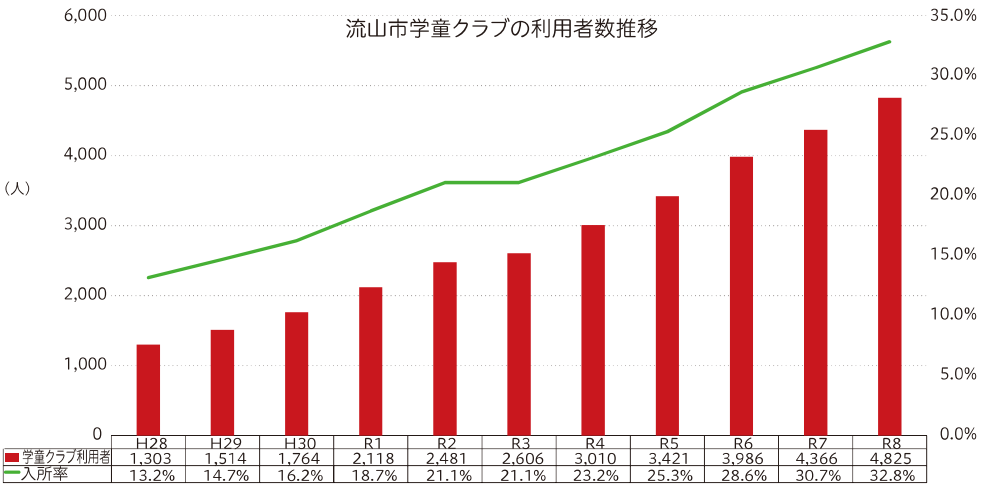


※令和9年以降は「令和8年度児童・生徒数推計及び想定値（令和8年7月）」より

令和8年度は、10年前（平成28年度）より、**6,121名増加**（児童生徒数）

在籍者数 児童生徒数の推計について

3 学童クラブの状況



・10年間で学童クラブの入所率は13.2%から32.8%へ**約2.5倍増**

・10年間で学童クラブの利用者数は1,303人から4,825人へ**約3.7倍増**

・施設整備や教室借用等により育成支援の場所を確保することで、1年生から6年生の利用希望者全員を受け入れており、**待機児童ゼロ**が続いています。

学童クラブについて



流山市教育委員会の取組－１

チーム担任制



大学との連携教育



民間プールの活用



官民連携教育



校舎リニューアル



いじめ防止授業



ＩＣＴの活用



オンラインフレンドステーション



採点支援システム



幼保小連携



体育館の空調設置



こどもの休暇制度

こどもが自分自身で判断し、年間最大3日、休みを選択できる制度。この制度の休暇は欠席扱いにならない。

流山ロードレース大会



流山スポーツフィールド人工芝化



秋元家住宅土蔵修復



こどもの読書活動推進



姉妹都市青少年交流事業



ゆうゆう大学



こども・保護者の声（令和７年度）

こどもの声

学校に楽しく通っている
91.5%
（令和６年度：90.7%）

先生の授業は分かりやすい
91.7%
（令和６年度：90.4%）

自分はまわりの人に優しい行動ができる
94.4%
（令和６年度：93.6%）

先生に相談しやすい
94.4%
（令和６年度：91.0%）

自分は主体的に勉強している
86.7%
（令和６年度：84.1%）

保護者の声

こどもは学校に楽しく通っている
92.2%
（令和６年度：91.7%）

先生はこどもの指導に熱心に取り組んでいる
92.1%
（令和６年度：90.4%）

こどもはまわりの人に優しい行動ができる
91.0%
（令和６年度：91.2%）

学校や先生に相談しやすい
90.0%
（令和６年度：87.9%）

学校の教育活動は充実している
92.2%
（令和６年度：93.1%）

※令和７年度学校評価アンケートより抜粋

主体的に学ぶ力の育成

自由進度学習・未来の教室等

ICT 等の最先端技術を活用した未来の教室は、従来の一方型授業ではなく、自分達の課題を自分なりの方法とペースで学習を進めることができる学びの場となっている。



同じ課題を持った友達とホワイトボードで考えを共有し、学びを深めています。



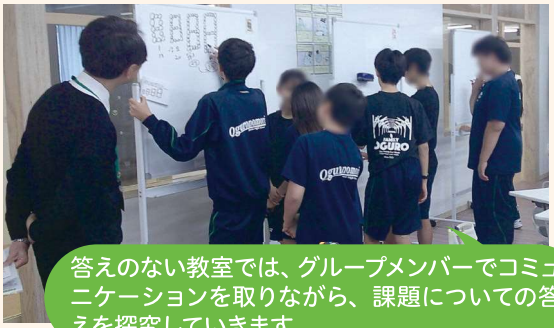
壁も床も学びの場となります。みんな自分なりの方法で学習しています。



机の向きも自由自在。グループでも、一人でも自分のペースで学習を進めます。

探究学習・答えのない教室等

より探究学習の推進を図るため、こども自らが疑問を持ったことについて、自分達で調べ探究し発表するという、探究のサイクルを体系的に進めることができる学びの場となっている。



答えのない教室では、グループメンバーでコミュニケーションを取りながら、課題についての答えを探究していきます。

探究学習プログラムでは、世界の第一線で活躍する人々の経験や考えから、物事の新しい視点を得て、アウトプットをしながら考えを深めます。





生徒自身が自分の興味関心に基づく問いを立て、自分だけの問いを追求していきます。

令和８年度　教育委員会の主な施策

図書、電子書籍、雑誌、視聴覚資料などの充実

図書館資料購入事業　5,163 万円



生涯学習センター（流山エルズ）のトイレなどを改修

生涯学習センター整備充実事業　3,299 万円



小・中学校の教育環境を整備

おおぐろの森小学校増築事業　ほか　5 億 3,721 万円





学校図書館図書と電子書籍の拡充

学校図書館教育推進事業　1 億 164 万円



夏休みのこどもの居場所づくり

地域による学校支援事業　2,169 万円



市内中学校の部活動の活性化

流山市部活動支援事業　2,892 万円



おおぐろの森小学校区学童クラブなどを整備

学童クラブ施設整備事業　4 億 2,358 万円



令和８年度　流山市学校教育指導の指針

流山市教育大綱　学びに向かう力と自立するこどもを育む

流山市教育委員会スローガン

・「挑戦なくして失敗なし」「失敗なくして成功なし」
・「楽しい学校」と「面白い授業」の実現
・主体性と当事者意識を育てる教育への転換へ

挑戦

自分の「学びたい」を追求する

～これからの時代に必要な『生きる力』＋自らの『ウェルビーイング』の向上～

1．主体的に学ぶ力の育成　　2．多様な価値観を尊重しあう力の育成

1．主体的に学ぶ力の育成

（1）個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実

【小学校】自由進度学習

・自ら学びを深める授業の実践
・ICT の効果的な活用による多様な学びの実現
・豊かな読書経験の機会の充実と情報活用能力の育成

【中学校】探究学習

・自分で課題を見つけ、探究し、解決する学びの推進
・「学びたい」を支える ICT の有効的活用
・探究的な学習を支援する読書活動の充実
（司書教諭と学校図書館司書の連携による効果的な授業支援）

（2）学びの連続性を生む幼保小の連携

2．多様な価値観を尊重しあう力の育成

（1）道徳教育や特別活動の充実
（いのちの大切さを考える教育の実践といじめの未然防止）

（2）インクルーシブ教育の推進

（3）特別支援教育に関する教職員の専門性の向上

（4）不登校児童生徒の居場所の拡充と学びの機会の充実



教育指導指針について

こどもたちの学びを支える教育環境の構築

・「第２期流山市 GIGA スクール構想」に基づく ICT 環境の整備
（電子黒板の設置、ネットワーク整備、一人一台端末の更新、採点支援システム）
・いじめ早期発見の組織的な対応（心の天気、WEBQU の活用）
・チーム担任制、教科担任制の推進
・教職員の指導力向上のための研修の実践
・部活動の地域展開に向けた環境整備
・学校、家庭、地域の連携、協議の推進





教育長からのメッセージ

私が目指す流山の教育は、すべてのこどもの学習権を保障し、こどもが主体的に考え、何事にも挑戦し、失敗を繰り返して「生きる力」を養っていくことです。

社会の変化が激しく、急速に人工知能が発達していくことが想定されるこれからの時代、「新たなものを創り出す創造力と実行力」や「話し合いによる問題解決能力」、「多様な価値観を尊重する力」など、「生きる力」が必要とされていくのは間違いありません。

偏差値の高い学校への進学や一流企業への就職を願う方もいるかもしれません。しかし、日本の終身雇用制度は崩壊しつつあり、今ある職業の約半分はなくなると言われるこれからの時代、大切なのは学業の結果よりも、コミュニケーション能力や問題解決能力、転んでも失敗してもそれをバネにして起き上がれる『生きる力』だと私は思います。

これらの生きる力を養うには、多くの人との出会いや失敗・成功の様々な経験が必要不可欠です。

今のこどもたちが生きる力を備えた大人や親になった時、流山市で子育てや教育を受けさせたいと思ってもらうことで、本市が発展的な持続可能都市になると考えています。

生涯学習の分野においては、すべての世代の方が生涯にわたって自ら学習することで、教養を深めるとともに、ウェルビーイングを実現し、人生を豊かにできるよう、だれもが多様な生涯学習機会を享受できる環境が重要です。

流山市の未来を担うこどものための『学校教育』と、流山市がこれまで培ってきた「歴史」や「文化」の取組が一体的になることで、流山市の教育行政をさらに発展させていきます。

NAGA.KYOUIKUCHOU

流山市教育委員会教育長
吉田　瑞穂

こどもたちを応援してくれる方を大募集！

